

年間授業計画様式

東京都立町田工業高等学校 令和4年度 教科 工業 科目 情報テクノロジー 年間授業計画

教科 科：工業 科 目：情報テクノロジー 単位数：2単位

対象学年組：第3学年2組～3組

教科担当者：(2・3組：岩下) (2組：小幡) (3組：寺地)

使用教科書：()

使用教材：(ディープラーニングG検定要点整理テキスト&問題集、工事担任者第2級デジタル通信標準テキスト、情報技術検定2・3級問題集)

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復讐を中心に。 伝送理論は伝送量の計算。	【知識及び技能】 情報セキュリティについて 基礎的な技術を身に付け、適 切な結果を出すことができる か。 情報セキュリティの社会的 な意義を理解し、応用的な処 理ができるか。 【思考力、判断力、表現力 等】 情報セキュリティについて 基礎的な知識を適切に活用 し、応用する能力が身につい ているか。	2
	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復讐を中心に。 伝送理論は伝送量の計算。	【学びに向かう力、人間性	2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復讐を中心に。 伝送理論は伝送量の計算。	等】 情報セキュリティについて 関心を示し、意欲的に取り組 んでいるか。	2
	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復讐を中心に。 伝送理論は伝送量の計算。		2
		中間考査		3
	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復讐を中心に。 伝送理論は特性インピーダンス。		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	論理回路 コンピュータの基本回路 伝送理論	論理回路・コンピュータの基本回路は復響を中心に。 伝送理論は漏話。		2
	伝送理論	漏話		2
	伝送理論	雑音		2
	伝送理論	雑音		4
	伝送理論	雑音		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		期末考査		2
	伝送理論			2
	伝送理論	変調方式		4
	伝送理論	PCM伝送 光ファイバ伝送		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	人工知能の定義 人工知能をめぐる動向	探索・推論		2
	人工知能の定義 人工知能をめぐる動向	知識表現		2
	人工知能の定義 人工知能をめぐる動向	機械学習		2
	人工知能の定義 人工知能をめぐる動向	深層学習		2
	人工知能分野の問題	トイプロブレム		

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	人工知能分野の問題	フレーム問題		2
	人工知能分野の問題	弱いAI		2
	人工知能分野の問題	強いAI		2
	人工知能分野の問題	中間考査		2
	人工知能分野の問題	シンボルグラウンディング問題		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	人工知能分野の問題	特徴量設計		2
	人工知能分野の問題	チューリングテスト		2
	人工知能分野の問題	シンギュラリティ		2
	人工知能分野の問題	データの取り扱い		2
	人工知能分野の問題	ニューラルネットワークとディープラーニング		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	人工知能分野の問題	既存のニューラルネットワークにおける問題		2
		期末考査		1
	人工知能分野の問題	CPUとGPU		4
	人工知能分野の問題	ディープラーニングにおけるデータ量		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	人工知能分野の問題	活性化関数		2
	人工知能分野の問題	学習率の最適化		2
	人工知能分野の問題	CNNとRNN		2

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月		学年末考査		1

	指導内容	科目情報テクノロジーの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				